

# 淀川通信

令和8年1月30日

1月号

大阪市立淀川中学校

## 冬を越えて それぞれの学年が咲く季節へ

暦の上では「大寒」を迎え、1年でもっとも刺すような寒さを感じる季節になりました。吐く息が白く立ちのぼる寒さの中、登校する生徒の姿もどこか背筋が伸び、冬ならではの澄んだ空気とともに、一日の始まりを迎えていることを感じさせます。

そんな中、学校の近くの土手では、水仙の花が咲き始めました。冷たい風に揺れながらも、その白い花びらは凛とした強さと優しさをあわせ持ち、春の気配をいち早く知らせてくれているようです。冬の厳しさのただ中にあっても花を咲かせる水仙の姿は、見る人の心を励まし「季節は必ず春へ向かう」という確かなメッセージを伝えてくれます。

校内では、まさにこの水仙のように静かな強さを見せている人たちがいます。義務教育の締めくくりを迎える3年生です。今日は3年間の学びを確認する最後の学年末テストの日。教室には普段より少し緊張した空気が漂い、試験開始の合図とともに、筆記用具のかすかな音だけが響きます。問題用紙に向かうひとりひとりの表情からは、積み重ねてきた努力と成長が伝わってきます。

テストを終えた後の廊下には「できた!」「もっと頑張れたかも」という声も聞こえてきますが、その言葉の奥には、自分の学びを見つめなおす姿勢がしっかり感じられます。結果だけでなく、ここまでの道のりこそが、これからの進路や未来につながる大切な財産になります。

さて、3年生が最後のテストに挑むこの時期を、1・2年生の皆さんはどのように感じているのでしょうか。

1年生の皆さんにとっては、この1年は中学校生活に慣れ、様々な経験を積んだ濃い1年だったと思います。最初は戸惑うことも多かったでしょうが、自分で考え、周りと協力し、少しずつ「中学生の顔」になっていく姿が印象的でした。冬の厳しさに耐えて花を咲かせる水仙のように、小さな成長を積み重ねることで、自信は確かなものになっていきます。残りの3学期も、丁寧に、前向きに過ごしていきましょう。

2年生の皆さんは、いよいよ来年度は学校の中心となる学年です。日々の授業や生活の態度は自然と下級生の目に触れています。3年生が見せてくれている真剣な姿勢や学校全体を支えるリーダーシップは、来年度の皆さんが引き継ぐ大切な役割です。今のうちに「2年生としての自分」「来年の自分」をイメージしながら行動することが、来年度を大きく変えるはずです。責任ある立場になるからこそ、今の一日一日がとても大切です。

水仙の花が寒さの中で健気に咲くように、生徒ひとりひとりがそれぞれの場所で力を伸ばし、春へ向けて歩みを進めています。3年生の姿に学び、1・2年生もまた、次の学年に向けて確かな成長を重ねています。

寒さは続きますが、校内には確かな春の気配が満ち始めています。淀川中学校では、これからも生徒の皆さんの学びと成長を、全教職員で温かく見守っていきます。

